

2023年11月16日 全8頁

Indicators Update

2023年10月貿易統計

円安や原油価格の上昇により貿易収支が悪化

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2023年10月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+1.6%と2カ月連続で増加した。他方、季節調整値で見ると前月比▲1.2%となった。挽回生産による自動車輸出の加速が一服した。輸入金額は前年比▲12.5%と7カ月連続で減少したが、地政学リスクの高まりによる原油価格の高騰もあって減少幅は縮小した。季節調整値では前月比▲0.7%となった。これを受け、貿易収支は▲6,625億円と2カ月ぶりの赤字となった。季節調整値では▲4,620億円と、交易条件の悪化により赤字幅が拡大した。
- 10月の輸出数量は前月比▲1.1%と2カ月ぶりに減少した。アジア向けの集積回路(IC)や中国向けの半導体等製造装置が減少したことに加え、自動車輸出の押し上げ幅が限定的であった。地域別に見ると、米国向け(同+4.4%)が増加した一方、EU向け(同▲8.5%)やアジア向け(同▲4.3%)は減少した。
- 先行きの輸出数量は緩やかな増加基調が続くとみている。米国での個人消費の底堅さや中国の景気回復の加速を背景に、幅広い財の輸出増が見込まれる。挽回生産の継続で自動車輸出が高水準で推移することも下支え要因となろう。他方、米欧ではタイトな金融環境の下で企業の設備投資が下振れしていることから、同国・地域向けの資本財輸出については当面低迷が見込まれる。

【貿易金額】原油価格の上昇もあって輸入金額の減少幅（前年比）が縮小

2023年10月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+1.6%と2カ月連続で増加し、コンセンサス（同+1.0%、Bloomberg調査）を上回った（**図表1**）。他方、季節調整値で見ると前月比▲1.2%と、輸出数量（大和総研による季節調整値、以下同）の下振れを主因に2カ月ぶりに減少した¹（**図表2左**）。自動車輸出が高水準にあるものの、挽回生産による輸出の伸びは一服しており、輸出数量を押し上げる力が弱まっている。

輸入金額は前年比▲12.5%と7カ月連続で減少したものの、減少幅は縮小した。品目別では石炭や液化天然ガス（LNG）が大幅に減少した。原油も全体を押し下げたが、地政学リスクの高まりによる原油価格の高騰もあり、石炭やLNGに比べて減少幅は小さかった。輸入金額全体を季節調整値で見ると、前月比▲0.7%と2カ月ぶりに減少した。要因は輸入数量（大和総研による季節調整値）の減少であった（**図表2右**）。

以上を受け、貿易収支は▲6,625億円と2カ月ぶりの赤字となった。季節調整値では▲4,620億円と、赤字幅が拡大に転じた（**図表3**）。原油価格の上振れや円安の進行もあって交易条件が悪化基調に転じており、年初から続いていた貿易収支の改善基調にブレーキがかかった格好だ。

図表1：貿易統計の概況

		2023年									
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
原系列 前年比 %	輸出金額	6.5	4.3	2.6	0.6	1.5	▲0.3	▲0.8	4.3	1.6	
	コンセンサス									1.0	
	DIRエコノミスト予想									2.6	
	輸入金額	8.2	7.1	▲2.7	▲10.2	▲13.1	▲14.1	▲17.6	▲16.6	▲12.5	
	輸出数量	▲6.3	▲7.5	▲4.4	▲3.6	▲4.0	▲2.8	▲5.3	0.2	▲3.3	
	価格	13.7	12.8	7.4	4.4	5.7	2.5	4.8	4.1	5.1	
	輸入数量	▲8.6	▲3.5	▲1.6	▲6.6	▲7.6	▲6.2	▲9.0	▲3.9	▲3.2	
価格	18.4	10.9	▲1.1	▲3.8	▲5.9	▲8.4	▲9.4	▲13.2	▲9.6		
	貿易収支(億円)	▲9,199	▲7,588	▲4,364	▲13,821	392	▲637	▲9,432	721	▲6,625	
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	3.9	▲0.9	2.6	▲3.1	3.5	2.0	▲1.6	7.1	▲1.2	
	数量	2.6	▲0.7	2.3	▲2.0	3.3	3.5	▲6.7	6.1	▲1.1	
	価格	1.3	▲0.2	0.4	▲1.1	0.1	▲1.5	5.5	0.9	▲0.2	
	輸入金額	▲2.6	▲0.9	▲0.0	▲5.1	0.8	1.9	▲1.8	5.2	▲0.7	
	数量	▲7.4	6.3	0.6	▲2.8	0.6	1.0	▲2.3	4.3	▲2.6	
	価格	5.2	▲6.7	▲0.6	▲2.4	0.1	0.9	0.6	0.9	2.0	
		貿易収支(億円)	▲12,164	▲12,085	▲9,920	▲7,800	▲5,698	▲5,720	▲5,501	▲4,203	▲4,620
	税関長公示レート	130.38	134.97	132.23	135.31	139.24	142.32	142.23	146.44	148.88	

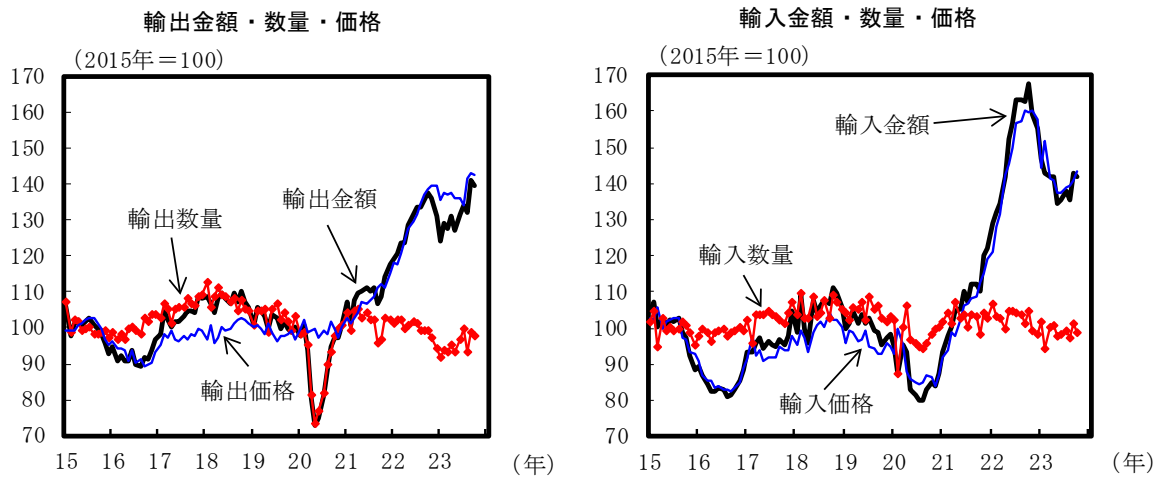
(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

¹ 輸出入数量指数はおよび輸出入価格指数は当月公表分から2020年基準に改定された。本稿執筆時点（速報段階）では長期時系列が公表されていないため、大和総研による季節調整値など一部の掲載数値については幅を持ってみる必要がある。

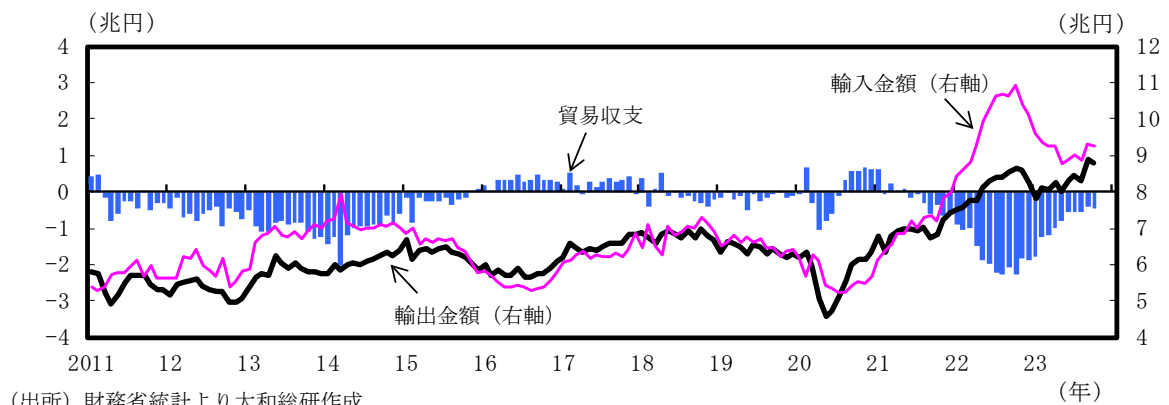
図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】挽回生産による自動車輸出の伸びが一服

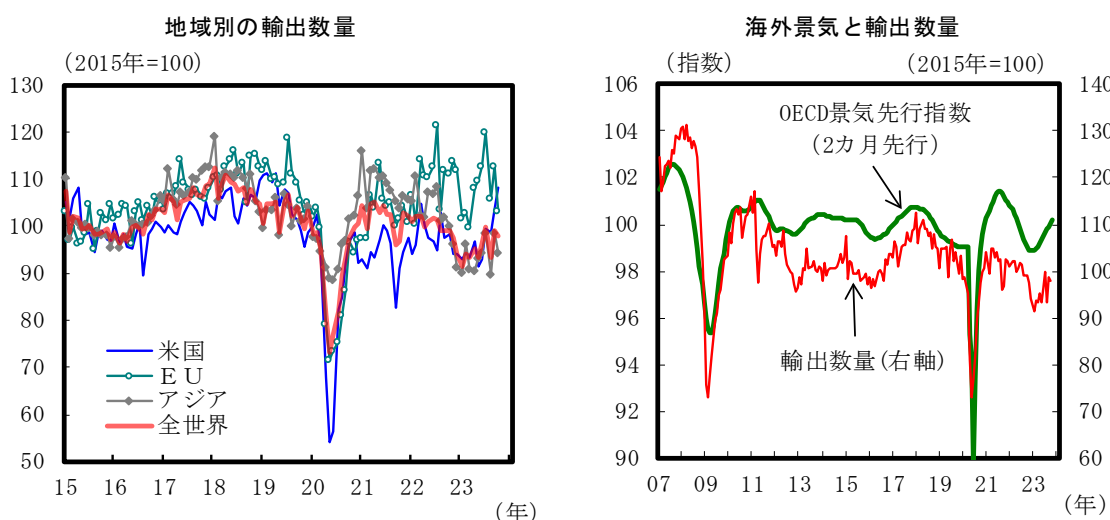
10月の輸出数量は前月比▲1.1%と2カ月ぶりに減少した。アジア向けの集積回路（IC）や中国向けの半導体等製造装置が減少した。また、挽回生産による自動車輸出の伸びが一服したことで自動車輸出は高止まりしている。地域別に見ると、米国向け（同+4.4%）が増加した一方、EU向け（同▲8.5%）やアジア向け（同▲4.3%）は減少した。

米国向けは2カ月連続で増加した。9月に続いて半導体等製造装置が全体を押し上げた。また、自動車の部分品や原動機などの自動車関連財も好調だった。9月以降、全米自動車労働組合（UAW）によるストライキの影響もあって米自動車工場の稼働率は落ち込んだが、日本からの自動車部品の輸出に対する影響は10月時点では軽微だったようだ。他方、自動車輸出は2カ月連続で減少した。7月から8月にかけて高水準で推移していたこともあり、足元では一服感が見られる。

EU向けは2カ月ぶりに減少した。振れの大きい鉄鋼が大幅に減少したことが主因だ。また、米国とは対照的に自動車の部分品や原動機が大幅減、自動車が大幅増となった。なお、10月の欧州向けの自動車輸出数量は新型コロナウイルス禍前（2019年平均）を10%程度下回っており、回復の余地は依然として大きい。その他の財では、プラスチックや非鉄金属などの中間財が減少した。

アジア向けは2カ月ぶりに減少した。半導体等製造装置や集積回路（IC）で前月の大幅増の反動減が表れた。半導体等製造装置はとりわけ中国向けの減少幅が大きかった。他方、鉄鋼や自動車が全体を押し上げた。鉄鋼は中国向けがけん引したが、自動車は中国向けが減少しており、その他のアジアの需要が旺盛だった。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数（CLI）はG20ベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】 堅調な米中景気が追い風に／米欧での設備投資需要の縮小は重し

先行きの輸出数量は緩やかな増加基調が続くとみている。米国での個人消費の底堅さや中国の景気回復の加速を背景に、幅広い財の輸出増が見込まれる。挽回生産の継続で自動車輸出が高水準で推移することも下支え要因となろう。他方、米欧ではタイトな金融環境の下で企業の設備投資が下振れしていることから、同国・地域向けの資本財輸出については当面低迷が見込まれる。

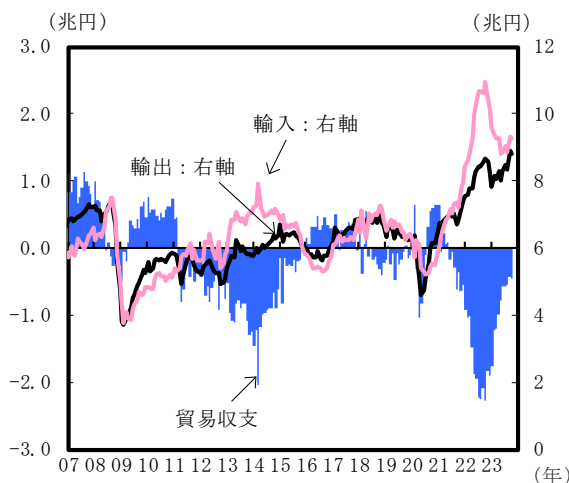
輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは緩やかな増加基調を辿るとみている。米国の 7-9 月期の実質 GDP 成長率は前期比年率+4.9%と、4-6 月期（同+2.1%）から大幅に加速した。個人消費を中心とする堅調な内需の伸びが日本からの輸出を呼び込んでおり、先行きも自動車のペントアップ（繰越）需要の発現を主因に消費財輸出の増加が続こう。他方、米国では金融引き締めの影響もあって 7-9 月期の設備投資が同▲0.1%と 2 年ぶりに減少しており、とりわけ機械設備の需要は明確に縮小している。先行きも金融引き締めの継続を主因に現地企業の設備投資意欲が減退するとみられることから、資本財輸出の減少が足を引っ張るだろう。

欧州向けは、振れを伴いながらも均して見れば横ばいで推移するとみている。ユーロ圏の 7-9 月期の実質 GDP 成長率（1 次改定値）は前期比年率▲0.2%と 3 四半期ぶりの小幅なマイナスに転じ、ファンダメンタルズの緩やかな悪化を示す内容だった。他方、10 月の HICP（EU 基準消費者物価指数）は前年比+2.9%と減速感が強まっている。先行きはインフレ鈍化による実質所得への下押し圧力の緩和が財需要の下支え要因となるだろう。これに伴い、日本からの財輸出も一定程度押し上げられるとみている。ただし、米国と同じく高金利の下で設備投資需要の縮小が見込まれることから、資本財輸出の下振れリスクは大きいといえる。

中国向けは緩やかな回復が続くとみている。中国の 7-9 月期の実質 GDP 成長率は前年比+4.9%と 4-6 月期（同+6.3%）から減速した。一方、足元では 10 月の小売売上高が同+7.6%と、雇用環境の改善を背景に個人消費が増加している。10-12 月期は消費の持ち直しもあって成長の加速が見込まれることから、短期的に見れば日本からの輸出についても回復が期待される。なお、10 月の中国の鉱工業生産は同+4.6%と 7 カ月ぶりの高い伸びとなっており、中国国内での生産動向の改善に伴って中間財需要が高まっている可能性が高い。当面は日本から中国向けの輸出額が大きい中間財が全体をけん引役しよう。

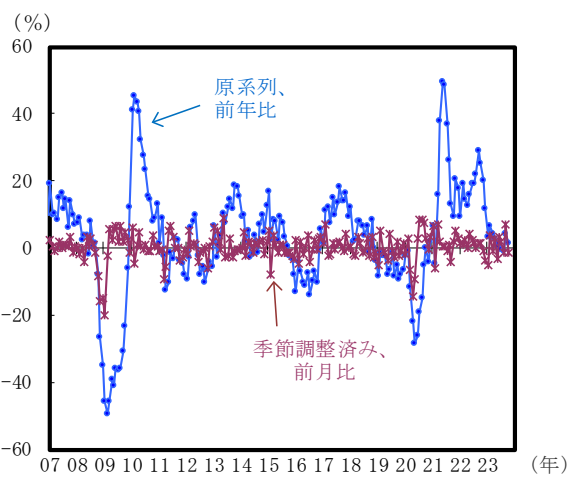
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

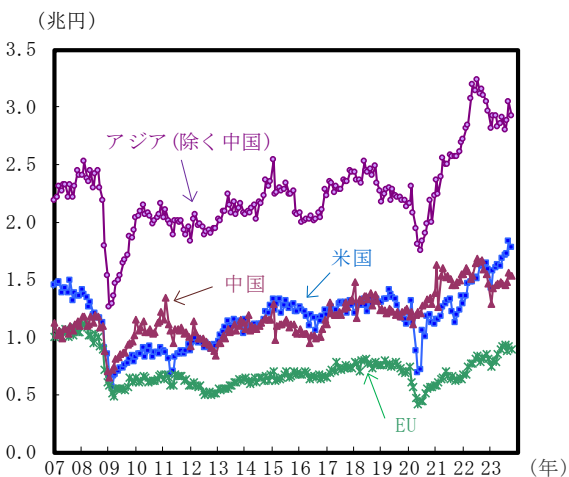


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

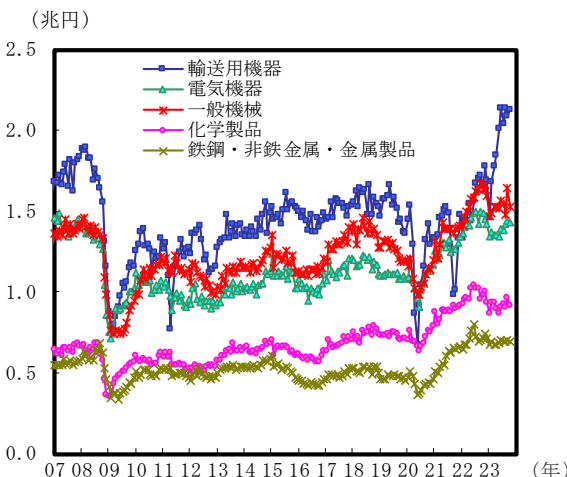


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

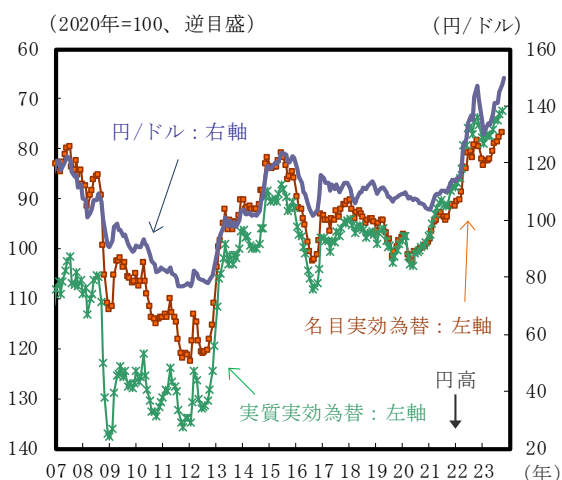


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

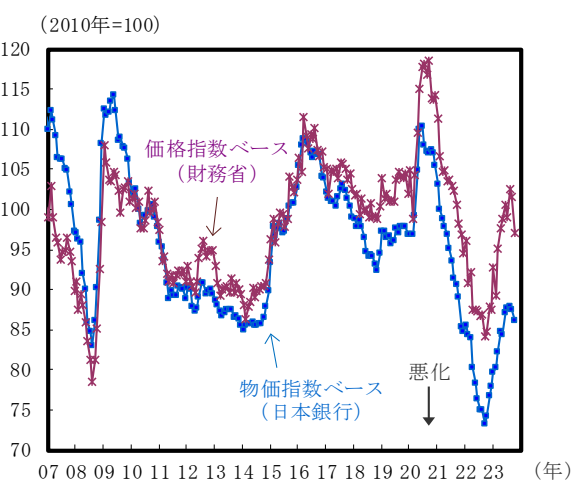


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。輸出入価格指数の直近値は大和総研による試算値。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08	2023/09	2023/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	0.6	1.5	▲0.3	▲0.8	4.3	1.6	100.0	1.6
食料品	6.5	2.2	1.2	▲10.8	▲4.1	▲12.1	1.0	▲0.1
原料品	▲16.0	▲8.2	▲2.5	5.2	7.9	8.6	1.6	0.1
鉱物性燃料	▲48.0	▲55.5	▲60.0	▲63.7	▲22.7	▲12.6	1.9	▲0.3
化学製品	▲15.0	▲13.0	▲8.8	▲11.7	1.8	▲7.9	10.5	▲0.9
原料別製品	▲7.5	▲10.2	▲2.7	▲1.1	2.2	▲3.0	10.9	▲0.3
鉄鋼	▲10.2	▲16.8	▲4.9	▲3.8	▲1.1	▲3.1	4.1	▲0.1
非鉄金属	▲8.4	▲8.0	▲0.9	9.1	2.9	▲6.0	2.3	▲0.1
金属製品	▲6.0	▲3.0	0.2	1.0	0.7	1.6	1.4	0.0
一般機械	▲3.6	▲1.5	▲4.5	▲9.6	▲1.4	▲6.4	17.7	▲1.2
電気機器	▲8.0	▲6.3	▲7.3	0.2	▲4.0	▲3.8	17.2	▲0.7
半導体等電子部品	▲12.1	▲10.7	▲14.8	8.1	▲7.9	▲3.3	5.8	▲0.2
I C	▲10.4	▲8.1	▲13.5	15.7	▲9.8	1.8	4.4	0.1
映像機器	4.3	▲5.3	▲8.4	▲0.8	▲13.2			
映像記録・再生機器	18.7	▲14.2	1.5	17.0	2.8	9.3	0.4	0.0
音響・映像機器の部分品	▲13.9	10.2	▲7.8	▲15.7	▲10.0	▲9.6	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲9.5	▲9.2	▲10.5	▲9.6	▲7.7	▲12.9	2.1	▲0.3
輸送用機器	38.9	38.1	22.7	25.6	21.2	27.5	24.8	5.4
自動車	66.3	49.7	28.2	40.9	26.9	35.4	17.9	4.8
自動車の部分品	▲1.6	5.4	10.2	▲1.0	12.0	5.3	4.2	0.2
その他	8.5	3.1	▲0.7	▲1.3	6.6	▲2.3	14.4	▲0.3
科学光学機器	8.3	▲5.6	▲9.8	▲6.8	0.7	▲15.3	2.3	▲0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08	2023/09	2023/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.4	11.7	13.5	5.1	13.0	8.4	100.0	8.4
食料品	▲11.3	▲10.5	23.4	7.8	49.4	22.4	0.9	0.2
原料品	▲64.8	▲53.4	▲23.3	▲47.6	19.8	▲46.3	0.4	▲0.3
鉱物性燃料	▲74.0	▲58.0	▲52.3	▲77.8	▲68.2	▲80.1	0.2	▲1.0
化学製品	▲22.6	▲14.6	3.7	▲25.3	12.8	▲16.7	5.9	▲1.3
原料別製品	▲6.3	▲9.4	16.0	▲2.2	12.1	8.0	6.6	0.5
鉄鋼	11.4	▲30.9	32.3	▲15.7	1.8	▲1.5	1.3	▲0.0
非鉄金属	▲29.9	▲2.2	12.4	4.6	25.8	17.7	0.9	0.2
金属製品	▲11.9	▲1.9	17.4	4.4	13.3	23.3	1.6	0.3
一般機械	▲3.2	3.3	▲1.8	▲4.0	6.4	1.3	24.4	0.3
電気機器	2.6	2.0	12.8	2.7	3.7	▲0.3	13.3	▲0.0
半導体等電子部品	▲8.2	▲2.5	4.4	2.4	▲12.0	▲1.1	1.2	▲0.0
I C	▲2.9	18.2	7.5	9.3	▲25.9	12.5	0.6	0.1
映像機器	18.5	▲9.2	▲12.3	▲17.5	▲16.7			
映像記録・再生機器	3.7	▲19.5	▲7.8	2.1	▲9.3	▲2.2	0.6	▲0.0
音響・映像機器の部分品	27.9	68.0	77.7	35.5	▲4.8	60.1	0.1	0.1
電気回路等の機器	▲1.0	4.5	10.6	▲6.4	9.7	▲5.1	1.2	▲0.1
輸送用機器	61.4	44.4	32.9	31.9	27.9	33.5	37.5	10.2
自動車	81.9	56.5	34.1	51.0	33.9	37.9	28.7	8.6
自動車の部分品	▲1.4	0.4	23.6	▲12.5	2.3	20.1	6.4	1.2
その他	17.1	14.8	4.8	2.5	2.9	▲1.1	10.9	▲0.1
科学光学機器	9.2	6.1	▲5.0	▲6.8	13.2	▲8.3	2.5	▲0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08	2023/09	2023/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	16.6	15.0	12.4	12.7	12.9	8.9	100.0	8.9
食料品	6.4	8.3	22.9	16.8	▲12.7	▲10.2	0.5	▲0.1
原料品	2.7	0.6	▲17.3	▲4.4	▲20.4	▲8.2	0.7	▲0.1
鉱物性燃料	16.6	▲3.8	▲58.4	▲75.1	▲79.6	▲86.8	0.1	▲1.0
化学製品	▲10.2	▲8.4	▲8.6	▲15.5	▲0.7	▲10.7	9.5	▲1.2
原料別製品	7.4	8.5	5.4	28.1	20.3	▲6.1	6.7	▲0.5
鉄鋼	3.6	15.9	▲1.8	144.3	38.5	▲2.5	2.0	▲0.1
非鉄金属	44.6	28.5	5.3	8.9	12.5	3.4	0.9	0.0
金属製品	10.9	8.3	15.2	8.8	4.6	▲10.8	1.1	▲0.1
一般機械	3.9	9.2	13.0	1.0	6.9	1.1	20.3	0.2
電気機器	▲1.3	1.3	7.9	9.3	9.7	▲7.0	14.9	▲1.2
半導体等電子部品	▲1.8	2.0	1.6	15.1	18.5	▲3.5	2.0	▲0.1
I C	▲14.1	▲12.2	▲19.6	3.7	2.5	▲7.1	0.7	▲0.1
映像機器	3.5	▲29.1	▲8.4	16.3	2.3			
映像記録・再生機器	10.1	▲31.3	▲1.1	25.6	21.8	20.3	0.8	0.1
音響・映像機器の部分品	▲45.7	▲27.1	▲32.2	▲29.5	▲0.1	0.2	0.1	0.0
電気回路等の機器	6.7	5.0	5.1	2.9	5.1	▲7.4	1.5	▲0.1
輸送用機器	76.2	63.4	38.1	35.7	23.9	56.4	33.6	13.2
自動車	141.7	78.8	55.2	63.2	23.9	84.0	24.1	12.0
自動車の部分品	1.5	9.0	23.2	▲7.1	35.9	10.6	4.4	0.5
その他	23.8	▲0.3	2.0	19.2	20.1	▲3.3	13.6	▲0.5
科学光学機器	4.6	▲9.3	▲9.3	23.1	18.3	▲10.3	3.7	▲0.5

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08	2023/09	2023/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.1	▲8.4	▲13.3	▲8.8	▲4.3	▲5.3	100.0	▲5.3
食料品	11.0	5.9	▲6.2	▲14.4	▲14.7	▲20.8	1.4	▲0.3
原料品	▲10.7	▲4.8	2.7	10.5	7.8	15.8	2.7	0.3
鉱物性燃料	▲27.4	▲32.9	▲64.6	▲61.9	▲25.0	▲3.2	1.9	▲0.1
化学製品	▲13.6	▲13.0	▲11.8	▲8.7	▲0.7	▲2.5	15.1	▲0.4
原料別製品	▲15.0	▲14.5	▲11.2	▲5.0	▲3.3	▲7.0	14.1	▲1.0
鉄鋼	▲21.4	▲22.4	▲18.2	▲12.7	▲7.2	▲10.6	5.4	▲0.6
非鉄金属	▲9.8	▲9.3	▲2.0	8.9	▲1.5	▲5.5	3.7	▲0.2
金属製品	▲13.3	▲14.5	▲13.4	▲5.4	▲5.7	▲7.5	1.5	▲0.1
一般機械	▲5.4	▲8.6	▲12.5	▲17.8	▲9.6	▲14.2	16.2	▲2.5
電気機器	▲12.8	▲10.5	▲15.0	▲3.5	▲9.1	▲5.6	22.9	▲1.3
半導体等電子部品	▲13.1	▲11.3	▲16.3	8.4	▲9.1	▲3.1	10.2	▲0.3
I C	▲10.7	▲8.7	▲14.1	16.1	▲9.7	1.6	8.1	0.1
映像機器	▲1.0	▲1.4	▲11.2	▲1.0	▲19.7			
映像記録・再生機器	33.5	▲1.3	6.2	20.1	▲0.4	18.7	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	▲19.4	▲3.0	▲18.0	▲20.3	▲13.1	▲19.7	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲14.1	▲13.9	▲16.2	▲13.2	▲12.7	▲16.5	3.0	▲0.6
輸送用機器	14.4	8.0	▲16.1	6.2	5.3	11.1	8.9	0.8
自動車	39.1	9.2	▲9.4	8.5	8.3	30.8	5.4	1.2
自動車の部分品	▲9.3	▲4.0	▲9.1	▲0.1	9.6	▲9.4	2.9	▲0.3
その他	0.2	▲1.5	▲7.2	▲7.8	1.8	▲5.6	16.9	▲1.0
科学光学機器	9.0	▲11.7	▲12.6	▲13.7	▲6.9	▲20.1	2.4	▲0.6

中国向け輸出金額 内訳								
	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08	2023/09	2023/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲3.4	▲10.9	▲13.4	▲11.0	▲6.2	▲4.0	100.0	▲4.0
食料品	21.2	4.8	▲23.9	▲43.0	▲58.0	▲55.0	0.6	▲0.8
原料品	0.6	▲9.3	3.0	20.2	36.5	25.8	3.0	0.6
鉱物性燃料	17.8	▲58.2	▲51.3	▲64.3	111.7	3.6	1.4	0.0
化学製品	▲5.7	▲8.9	▲8.7	▲3.0	1.5	1.8	18.5	0.3
原料別製品	▲18.9	▲19.6	▲16.8	▲11.7	▲11.2	▲8.6	11.5	▲1.0
鉄鋼	▲26.5	▲30.2	▲30.1	▲27.8	▲20.2	▲23.3	2.7	▲0.8
非鉄金属	▲22.5	▲20.1	▲7.8	▲4.2	▲8.2	▲0.0	3.9	▲0.0
金属製品	▲13.7	▲19.3	▲20.4	▲6.7	▲12.1	▲6.7	1.6	▲0.1
一般機械	▲3.0	1.2	▲2.8	▲8.6	1.4	4.4	22.6	0.9
電気機器	▲3.2	▲11.7	▲20.6	▲5.1	▲15.1	▲13.6	20.8	▲3.1
半導体等電子部品	14.3	▲12.8	▲16.8	25.5	▲22.9	▲23.3	6.2	▲1.8
I C	28.4	▲10.9	▲19.4	39.4	▲27.2	▲27.8	4.3	▲1.6
映像機器	▲17.5	▲22.0	▲21.6	▲15.9	▲33.0			
映像記録・再生機器	36.4	▲4.7	3.4	8.4	▲12.4	55.8	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	▲36.8	▲14.4	▲44.1	▲28.6	▲30.8	▲34.3	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲11.7	▲14.9	▲25.2	▲16.5	▲17.8	▲19.8	3.2	▲0.8
輸送用機器	10.3	▲10.1	▲24.6	▲5.8	4.6	14.4	9.8	1.2
自動車	50.5	▲7.6	▲23.5	▲2.3	7.6	31.8	6.5	1.5
自動車の部分品	▲28.1	▲16.6	▲30.5	▲16.8	▲3.6	▲11.5	3.0	▲0.4
その他	4.9	▲20.5	▲8.9	▲29.4	▲22.0	▲16.0	11.8	▲2.2
科学光学機器	▲1.2	▲9.7	▲7.8	▲17.6	▲1.5	▲14.8	3.2	▲0.5

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成